

情報交差点・心と心の交わり

## あじまへ

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3020

中学生のアイデアと力で大宜味村を元気に！

後輩に引継ぎ2年越しの思いが完成



## 塩屋大橋イラスト完成セレモニー

3月12日（火）、塩屋大橋において「塩屋大橋イラスト完成セレモニー」が行われました。

令和4年度大宜味中学校生徒会長の我那覇藍貴さんが大宜味村を知る調べ学習で米須邦雄さんから塩屋大橋の話を知り、橋を実際に歩いて渡った際にメロディーベンチが壊れていることを確認。なんとか修理できないかと生徒会執行部が教育委員会へ相談し、教育委員会が北部国道事務所へ内容を伝えたところ、北部国道事務所から生徒と話しをしながら前向きに進めたいとの返事をもらいました。

以前の形に戻すことはできませんでしたが、新たに大宜味中の生徒が描いたイラストを設置する案が提案され、豊かな大宜味村の自然を表した生きものやぶながや、シークワサーなど生徒が各々で描いた大宜味村のイラストが集合し完成。今回のセレモニーとなりました。

知念章区長は「素晴らしいイラストをありがとう。橋は区民もよく利用する。橋を渡る時みなさんのイラストを見るのが楽しみ。村民の憩いの場になったら嬉しい」と喜びました。

生徒会長の平良夏音さんは「もっと大宜味村のことを知ってもらいたいと思い、シークワサーを描いた」と笑顔で話してくれました。

最後に参加者全員で「えんどうの花」を歌い、イラストの完成を祝いました。

### 昔の人はどんな道具を使っていた？大宜味小3年生民具体験

3月5日（火）、大宜味小学校において3年生が民具体験をしました。ボタンを押したら洗濯もできるしご飯も炊ける現在。そんな便利な道具がない時代、昔の人はどんな道具を使ってお弁当を作っていたのか、みんなで考えてみました。ご飯を炊く時は何が必要？どの道具を使ったなどクイズをしながら学び、その後実際に昔の道具を使うことで当時の大変さを体験しました。



児童たちは楽しみながらも稲からお米にするまでに大変な作業があること、ぞうきん1枚を洗うのに大きな労力があること、荷物を運ぶのに力とバランス感覚が必要なことなど当時の人たちのすごさを知るとともにたくさん大変さを学ぶことができました。

### 大宜味村スターリースカイ（星空観察会）開催

3月15日（金）、「大宜味村スターリースカイ～三ツ星オリオン冬物語～」と題した今年度最後の星空観察会を大保ダム施設内にて開催しました。



観察会が始まる直前まで小雨や雲行きが危ぶまれましたが定刻の間には多少の雲で覆われていたものの星空が観察できる夜空となり、オリオン座や冬の大きな大三角形、また冬のダイヤモンドと呼ばれる大きな六角形も観察することができ、参加者からも喜びの声が聞こえ、「参加して良かった。とても楽しかった」と感想をいただきました。

※星空観察会について、4月以降の令和6年度も計画、開催を予定しております。日程等が決まりましたら広報誌などで追って周知しますので参加希望の方はお見逃しなく！

### ～教育委員会 会議だより～ 会議で決定した事項をお知らせします。

第2回 教育委員会会議 令和6年2月20日（火）午後2時半 開催

#### ＜審議事項＞

- 議案第2号 県費職員管理職異動の内申について 《可決》
- 議案第3号 文化財保護審議員の委嘱について 《可決》
- 議案第4号 令和5年度大宜味村一般会計補正予算（教育費予算（第10号））について 《可決》

### 図書室情報 No.56 2024年（令和6年）4月

大宜味村図書室（旧議会棟：村史編纂係内）  
大宜味村字大兼久 157番地 0980-44-3009

- 『キレイはこれでつくれます』 MEGUMI 著
- 『「特攻」を子どもにどう教えるか』 山本研二 著
- 『じい散歩 妻の反乱』 藤野千夜 著
- 『黄色い家』 川上未央子 著
- 『もっとすごすぎる天気の本』 荒木健太郎 著
- 『定年後のお金「見える化」入門』 澤木明 著 ほか

お知らせ

#### 4月図書室カレンダー 閉室日：

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

**利用状況累計** .....

○来室者数…のべ3,165人

○貸出冊数…5,432冊

○登録者数…173人

.....

**3月の統計（3/26まで）**

○来室者数…のべ41人

○貸出冊数…73冊

.....

現在の蔵書数…7,145冊

※4月から沖縄県立図書館の本が新しく入れ替わります！！一般書（文学・健康・ビジネス書・子育て本など）や紙芝居も入りますのでご利用ください♪

### ◆ 村内小中学校・こども園・教育委員会 異動者 退職者 ◆

	～異動先～	こども園
大宜味中		
教頭	知花淳次先生	東中（校長昇進）
1年副担任	宮城史人先生	名護中
事務主幹	比屋根敦子さん	読谷村立古堅南小
音楽（非常勤）	大兼久綾子先生	名護桜中
大宜味小		
教務主任	宮里努先生	金武町教育委員会（指導主事昇進）
きらめき担任	鮫島英里先生	大北小
学習支援員	山城芳江先生	高江小中
教育委員会		
教育課長	真喜志亮さん	総務課
給食センター所長	田仲不二美さん	住民福祉課
社会教育係	津波古達功さん	給食センター（所長昇進）
学校教育	前田莉代さん	住民福祉課
郡体協事務局	新城寛真さん	建設環境課（新採用）

これまで大宜味村の教育・子どもたちのために、ご尽力いただきありがとうございました。新天地でのご活躍をお祈りしております。



### 令和6年度大宜味村育英会資金貸付募集のお知らせ

大宜味村育英会では、村内に住所を有し、大学、短大、専門学校（高等専門学校含む）等に在学している者で、経済的な理由により修学困難な学生を対象に、令和6年度資金貸付奨学生を次のとおり募集します。

- 採用人員 若干名
- 貸付金額 月額3万円（県内・県外同額）  
※審査後、貸付決定者へ7月より貸付開始となります。（7月に4月～7月分の貸付を行います。）
- 応募資格 (1) 大宜味村に住所を有し、現在大学、短大、専門学校等に在学している者で、経済的な理由で修学困難な者。  
(2) 学業優秀、志操堅固であること。  
(3) 家計上学費の支出が困難であること。
- 提出書類 ①大宜味村育英会資金貸付申請書  
②在学証明書（令和6年4月1日以降に発行されたもの）  
③住民票謄本（続柄入り） ④所得証明書（同一生計者全員分）  
⑤その他必要な書類（村育英会にお問い合わせください）
- 受付期間 令和6年4月1日（月）～4月30日（金）8:30～17:15  
（土日祝日、12時～13時を除く）
- 提出先 大宜味村育英会（大宜味村教育委員会内） 〒905-1392 大宜味村字大兼久 157番地
- 奨学生決定通知  
貸与者の選考は、願書等の書類に基づき、村育英会役員会の審議を経て決定します。（6月上旬に本人宛通知します。）  
※その他ご不明な点については教育委員会へ合わせ下さい。 ☎0980-44-3006（学校教育係）

### 3月15日 おおぎみこども園修了式



平良菜瑞 照屋樹 平良姫奈乃 山城一清 石慈那  
 吉濱慧 堤木乃華 大城稜 山内健太郎 堀之内結芽子  
 宮城陽乙 稲福濤菜 比嘉時野 大城空 光部清太  
 親川燈 宮城太徳 知花梨心 松本稀菜 松本琉斗  
 新城海琉 野村葉

男子 10名 女子 12名 計 22名

### 3月18日 大宜味小学校卒業式



安里正大 平良太誠 吉田芽生 平良瑠子 宮城あん 福地洸楽  
 奥原瑠輝 平良透海 宮城咲結 城間楽来 大湾光 高良凌平  
 宮城わら 前田泰那 川上鍾 古我知星絆 宮城航大 水本京吾  
 東恩納颯人 宮里歩武 濱元大晴 金城希咲 金城榎己 平良玲旺斗  
 當山耀希 嘉陽宗秋

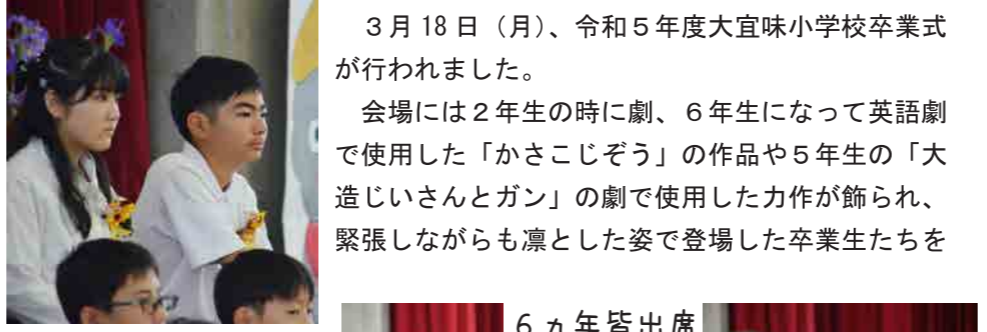
男子 16名 女子 10名 計 26名

### 3月9日 大宜味中学校卒業式



山口愛紗 渡嘉敷空 花田琉空 平良栄棋 山川瀬奈  
 中井慶次郎 福地楽偉門 崎山陽 藤田大洋 平良菜海  
 吉本心菜 宮城颯人 高良心 宮城松 我部喜歩子  
 川上鋏 高澤杏音 前田明志 幸山ひなの 金城匠英  
 大城真乃 高江洲千歌 瑞慶山時来 我那覇ゆい 島袋恭輔  
 大石明翔 金城翼希 平良規一 新垣友愛 新城ひより

男子 17名 女子 13名 計 30名



3月15日（金）、おおぎみこども園において令和5年度修了式が行われました。

ニコニコ笑顔で元気よく入場してきた修了生たち。大きな声であいさつし、先生や来賓の方たちのお話もしっかり聞ける頼もしいお兄さん、お姉さんに成長した姿を見せてくれました。

島袋きよみ園長先生は「みなさんは一人一人が夢や希望を持ち遊びにたけた天才です。たんぽぽ組からゆうな組と過ごしてきた道のりがあり、先生方やお友達を過ごして遊んだ学びがでいご組で大きく花開きました。おおぎみこども園で学んだことに自信と誇りを持って小学校へ進学してください」と激励しました。

式終了後には在園生たちが花道を作り大好きなお兄さん、お姉さんたちを笑顔で送り出しました。



迎えました。運動会の校歌ダンスを作るなど新しいことに積極的に取り組むチャレンジ精神旺盛なクラスでした。

平良智校長先生は「委員会活動など後輩たちに頼られる卒業生。運動会でも素晴らしい実践を見せてくれました。みなさんの優しさやアイデアを生み出す力はみなさんの強みです。この強みを真の力にしていってください」と激励しました。

在校生を代表し前田菜雪さんは「みなさんは私たちの誇りです。中学生になっても頑張ってください」とはなむけの言葉を送りました。



3月18日（月）、令和5年度大宜味小学校卒業式が行われました。

会場には2年生の時に劇、6年生になって英語劇で使用した「かさこじぞう」の作品や5年生の「大造じいさんとガン」の劇で使用した力作が飾られ、緊張しながらも凛とした姿で登場した卒業生たちを

3月9日（土）、令和5年度大宜味中学校卒業式が行われました。

様々なことが制限された中学校生活でしたが、そんな中でも自分たちのできることを探し、先頭に立って明るく楽しく周りを盛り上げてくれた44期生。

今年度の卒業式は対面式で行われ、家族の目の前で卒業証書が授与され、一人一人が感謝や抱負を述べました。

卒業生を代表し宮城松さんは「一つ一つの思い出を挙げるとキリがないほど、仲間と過ごす学校生活は充実していました。日々過ごした時間全てがかけがえのない思い出です」と学校生活を振り返り、後輩たちへ「残りの中学校生活を悔いのないよう全力で楽しんで過ごしてください」と言葉を送りました。また転校した高山莉生さんを含め一緒に学んできた44期生には「また逢う日まで、この三十一名で過ごした九年間を力に変えて自分の目指す場所へ向かい、それぞれの道を進んでいきましょう」と思いを伝えました。

個性豊かで一人一人が輝いていたの44期生。新天地での活躍を期待しています！

# 天野鍛助日記ヲ読ム 2 (155号つづき)

一九三二（昭和六）年、リヤカー人力車に乗って公務に出る鍛助（右から3人目）



天野鍛助（あまの かすけ）1888（明治16）—1966（昭和41）は饒波出身で、1920（大正9）年、民選による初の大宜味村長に就任、以降三期村長を務めたが、1931（昭和6）年の村政革新運動によって辞任。

「天野鍛助日記は、」天野が明治の頃から80歳まで亡くなるまで書き記した日記で、日々の出来事が赤裸々に綴られ、行間からは勤勉で几帳面な性格が伝わって来る。昨年12月に金城功氏から寄贈されたものの中から、当時の村政や世相に関連する記述を年代順で紹介していく。

鍛助は1932（昭和7）年6月14日、三期務めた村長の職を辞した。その翌日はさすがに昼間からやけ酒を飲んだようだが、生来の勤勉さと研究心はいまも衰えず、直ちに村議に立候補し議席を勝ち取り、県議や農会、水産組合などの役員を兼任しながら、産業振興にも熱心に取り組んだ。今回は村長辞任後の鍛助の様子を追ってみた。

一九三二（昭和七）年  
六月十八日（土）原山勝負差分式、席上、不況時代ニウント生産シテ景気時代ニ備フベシト訓辞ス、夕方ヨリ二階ニ合シ助役問題ヲ打合ス、帰宅後倉榮親子来訪酔拂ツテ寝ル  
六月廿三日（木）役場へ出頭事務引継ヲナス、吏員一同ヲ慰勞ス  
七月一日（金）村会議員選挙開票ノ結果平良信順落選ス、縁者沢山宅ニ集リ来ル  
七月二日（土）同志議員結束ノ為メ中方ノ五人押川ニ登リ辰三ヲ呼ビ結束ヲ約ス、飲ンデ養蚕室ニ寝ル  
七月六日（水）苗代整地ニ出掛ケルニ耕一ヨリ呼ビ戻サル、岩蔵一派会合スルノ報ニ接シ養蚕室ニ待受ケ彼等ノ企ミヲ破ル、親睦会ヲ催ス  
七月十日（日）仲之進青酸加里ニテ鰻ヲ獲リ馳走ニナル、飲先ザシラ寝ル  
七月十六日（木）午前新垣自動車ニテ平良口ト会见ス、午後一時ヨリ那覇市水産会ノ魚揚場落成式ニ招ゼラル、午後三時帰途ニ就ク、塩屋ニテ達吉ノ馳走ニ預ル  
七月十八日（月）村会開催、初メテノ村会ナリ、議席十一番、区長認定問題デ候補者ノ素性ヲ質問ス、実太郎、米作ノ祝望ニ行ク  
七月廿三日（土）金市ト二人薬品ニテ鰻ヲ獲リニ行キシモノ不漁、牛ノ鼻筋切断ス  
七月廿五日（月）女高我部水泳教師来宅、賢勇、金市ト三人鰻獲リニ行ク蝦ノ獲物アリ、女高水泳隊ヲ招シ夕飯ヲ饗ス、賢勇、金市、平永来宅飲ム  
九月三日（土）朝牛蒡ヲ植ユ、南風掟田、田倒シ行フ、牧野補助申請書作成ノタメ東栄宅ニ集リ飲ンデ帰ル、兼久共同店デ村長ト飲ム  
九月四日（日）悪徳ノ酔ヒ天罰云々ト暴言ヲ吐キタリト妻ヨリ戒メラル、パインアップ苗四十本倉榮ニ與フ、茶園ノ牛舎ノ肥料ヲ出ス、四時帰宅、宗喜ノ婚礼祝ニ行ク、組合店デ飲ム  
九月十七日（土）風邪、朝寝る、同ノ日問題で上方の陳情員来る、トンネルト宇栄原一を造れト説破ス、午後より役場へ出頭役場の地主を調べ  
九月廿五日（日）松田技手宇内道路を測量す、三ヶ区長議員会饒波で催し林道調査を為し松田技手ニ希望を持ち出す、夕方役場に至り牧野申請書ノ打合せヲナス、夜になりて松田ヲ訪問し希望を述べ  
九月廿九日（木）耕一ノ見舞ニ行ク十一時到着息ヲヒキトツタ噫人生卒ニシテ他界ノ人トナル悼テモ餘リアリ葬式委員長トナリ□□出棺  
※鍛助が村長辞任に当たり後任として推した前田耕一が、村長就任からわずか四ヶ月で病に倒れ在任中に急逝している。この後の村政維持には、鍛助も奔走したであろう

# 村史編さんだより

第156号 2024年4月1日 大宜味村村史編纂係44-3009



## ～暮らしを支えた山原船～

絵画の寄贈ありがとうございました！



一真っ青な海と空に浮かぶマーラン船—  
現在、国頭村在住の屋良さんより、自身で描いた「山原船」の絵画の寄贈がありました。

長年マーラン船（山原船）の研究を続けている屋良さんは、「戦前は大宜味村出身の優秀な船大工が数名おり、高い造船技術と航海技術を持っていた。彼らは他の地域へ出向き造船を行ない技術を教えていた。現在、平安座島に残っている山原船の造船技術も、元をたどれば大宜味の船大工が伝えたもので、資料は少ないが、大宜味の船大工は素晴らしい技術を持っていたという歴史を大切にしたい」との思いから、せみ、大宜味村に飾ってほしいと寄贈の動機を語っていました。

描かれているのは少しずつ角度の違うマーラン船三艘、船や帆の構造が隅々までわかるようにとの配慮がなされています。図書室に飾ってありますので、ぜひ足をお運び下さい。



### △「山原船」とは??

沖縄では自動車が出現する大正時代まで陸路の整備がほとんど行われず、物資の流通のほとんどが海上輸送に頼っていました。人口が増えるにつれ建築用の木材や生活必需品である薪炭などの需要が増大し、山原と泊や那覇、与那原との取引が盛んになり、山原地方との往来が増える中で「山原船」という呼称が登場したと思われます。大きな木綿の帆をかけた帆船で動力は自然の風だけ。馬艦（マーラン）船とか帆船（フーシン）とも呼ばれています。

### △ 山原船が運んだ品々

明治31年の大宜味間切の輸出品は「薪・砂糖樽板・砂糖樽底蓋板・木炭・製藍・シュロ皮」などで、輸入品は「焼酎・石油・大豆・白米・素麺・茶」などがあります。輸出品をみると大宜味村は林業が中心で、これらの品物は村船（旧藩時代から持っている村の山原船）で運ばれていました。

### △ 大宜味の船大工

明治31年の「工芸人」調査によると、大宜味間切の大工の数は0となっていますが、船大工は17名もおり、国頭地方で一番船大工の数が多くなっています。船大工が多く造船業が盛んであった理由は、船材である松、樟、杉の良材が豊富であったためと言われています。

恩納村谷茶の古い歌として「大宜味大工たるで谷茶船はがち 美さ産りたる谷茶じじん」（恩納村誌 420頁）とうたわれたり、『国頭村安田の今昔』では「明治12年大宜味の船大工を雇って村船（山原船）を造った。その船は全琉一の船形で美しく速力も全琉一と評価され、村船が与那原港や泊港に入港すると見物に来る人が絶えない程であったという。船はやかた走でも、ま



とも走でも、他の船とはくらべものにならない程で、前方に帆の見える船は全部追い越したとのことである。北風のニヌハ、ウシヌハに安波のヒラフ沖から一まげでハラサキまで走りきって安田ウキズに入港できたというから、昔の帆船としては見事なものであったという」（66頁）と書かれてあるように大宜味村には腕の良い船大工がいたことが伺えます。村内では、喜如嘉の浜、大兼久の浜、津波の浜などで造船をした記録が残っており、喜如嘉の屋号兼元小のおじいさんが建造した山原船の写真が残っています。

左：兼元小のおじいさんが建造した山原船（大正期に撮影されたと思われる『喜如嘉の写真集』より）  
右：宮城島の前に停泊する山原船（沖縄県公文書館所蔵）宮城の前にも大きな山原船が14、5艘も停泊し盛んに那覇と往復していた

## 政信教育長のあじま～コラム



## 「令和6学年度教育行政の重点」

令和6学年度のスタートにあたり、今回のコラムは教育行政の重点について述べたいと思います。「地域とつながり、子供も大人も共に育ち、共に学び、共に支え合う」ことを基本理念とし、子供を真ん中において、大宜味村の自然や歴史、文化、人材など豊富な教育資源をもとに学校・家庭・地域が連携・協働し、つながりの中で子供も大人も誰もが生き生きと暮らせる村を学校教育、社会教育等を通して推進していきます。その

目標の達成のため、今学年度は主に次の事柄に重点的に取り組んでいきたいと考えています。

## 1 地域学習（仮称：大宜味村民科）の体系化「世界自然遺産登録の村」普及と併せて

現在も行っている小学校3年生以上の総合的な学習で、地域に関わる学習を整理し体系化していきたいと考えています。子どもたちが調べた大宜味村のことを、広く村内外の人々に発信することを目標にします。実践にあたって、村が進めている「クガニーんちゃプロジェクト」（大宜味案内人育成等）との連動も模索していきます。調べる内容としては現在の4つのキーワードを中心に自然、歴史・文化・産業などが考えられます。

## 2 保護者・地域との連携強化

「学校を開き、家庭・地域・学校が一体となって子どもを育てる」ことを目標として「地域とともにある学校」づくりを推進していきます。地域の様々な機関や団体等とネットワーク化を図りながら、学校、家庭及び地域が相互に協力し、地域全体で学びを展開していく「子どもも大人も学び合い育ち合う教育体制」を構築していきます。

## 3 小中連携校としての強化

小学校と中学校が同じ施設にある利点を生かし、学校行事や教師同士、児童生徒の関わりをより充実させていきます。

これらの重点事項は、学校職員や関係機関と連携・相談しながら進めていきます。

## 今月の生きもの

## タテハモドキ：タテハ千ヨウ科



春の～うらら～の～♪気持ちの良い春が来ましたね。

どうも、私タテハモドキです。橙色で前後翅の目玉模様が特徴的な私たちは1年中見ることができます。なので同じ個体が1年中生き続けているように思われますが、実は私たち夏型と秋型がいるんです。

夏型は裏側も目玉模様、秋型の個体は翅を閉じた時、枯葉のように見えるので、一瞬コノハ千ヨウとってしまう人もいるかも。普通千ヨウは食草となる植物に直接卵を産み付けますが、私たちは食草がありそうな所に散卵します。時には切り株や石など植物以外にも…。なのでメスは卵を1000個以上持っています。たくましく育てわが子たち！

4月の行事予定 

1日（月）こども園入園式・始業式 辞令交付式 区長会	4月6日	19日（金）（小中）授業参観・保護者会
5日（金）春の交通安全出発式		21日（日）塩屋湾一周マラソン大会
8日（月）小学校始業式 中学校始業式・入学式	城の日	25日（木）（小）こいのぼり集会 定例教育委員会議
9日（火）小学校入学式		26日（金）春の遠足・1年生を迎える会
12日（金）いぎみていぐま ～ 14日		27日（土）中体連春季大会 ～ 28日
		29日（月）昭和の日

春になりました。シークワサーやイタジイなど様々な花が咲き誇り、至る所でいろいろな匂いが楽しめます。シークワサーの花はいい匂いだけれど、イタジイの花は独特な匂いがします。不快な匂いって訳じゃないけれど、好きでもないんだなあ。